

海と森に囲まれた自然道を堪能



百名エリアは琉球王国にまつわる聖地や伝説など多く、歴史ロマン溢れる場所です。地元の人でも知られていないレアなスポット散策。史実や伝説を楽しみながら琉球王朝に思いを馳せてみましょう。



準備

- 運動靴と動きやすい服装
 - タオル、帽子、水筒があると便利
- *夏期は熱中症にご注意ください。

マナー

- 貴重な史跡に触れないようにしてください。
- 森の植物を持ち帰ってはいけません。
- 植物の枝を折ったり、葉を切ったりしないようにしましょう!
- ゴミは必ず持ち帰りましょう。



Cafe やぶさち ツアー

聖地でお散歩 & カフェ

ガイドと巡るパワースポット

GUIDE
MAP

2時間

パワースポット6



- ① ランチコース
- ② スイーツコース



パワースポット 6

1 藪薩御嶽



琉球開闢の神アマミキヨが天帝の命をうけて土石草木を持ち降り国土造営をしたといわれる琉球七御嶽の一つ。この付近を藪薩の浦原という。神名はタマガイコガイの御イベ、ムメギヨラタチナリの御イベの2神が祀られている。

2 美生之御嶽



アマミキヨがお産をした場所とされ、子宝や安産祈願の聖地とされている。その後、ミントングスクに定住し子孫が繁栄して、琉球中に広まったと言われている。

3 ヤハラツカサ



大昔アマミキヨがニライカナイから渡ってきて、百名の海辺にあるヤハラツカサの海岸に上陸し第一歩を標した。国王と聞得大君が4月の稲の御祭りの際に「東御廻り」した地であり、現在でも一般の方が旧暦の正月等にこちらによく参拝している。

4 浜川御嶽



ヤハラツカサに上陸したアマミキヨがミントングスクに移住するまでの仮の住居として山ごもりした地だと伝えられている。付近は清流が流れ、ここで上陸後水浴をして旅の疲れを洗い流し、身を清めたとされる。4月の稲の御祭りの際には国王及び聞得大君は「東御廻り」といってここを拝んだと言われている。

5 受水走水



向かって左側は受水（うきんじゅ）、右側は走水（はいんじゅ）。昔から霊泉とされ、国王の「東御廻り」の地であった。受水の傍らにある小さい田が「御穂田」といい琉球の稲作発祥の地と言われている。稲穂をくわえた鶴が暴風にあつて、泉に落ちて死んだ。鶴のくわえた稲穂が芽を出したのを御穂田に植えたと言われている。

6 亀甲墓



墓室の屋根が亀甲形をした沖縄県に多く見られる墓様式。琉球王国時代は士族のみに許された墓であったが、廃藩置県以後は庶民の間でも急速に普及した。戦後は火葬の普及とともに、より小型の家形墓に人気に移っている。現存する最古の墓は護佐丸の墓（1686年）や伊江御殿墓（1687年）だと言われている。

GUIDE MAP

